

令和5年度事業報告及び収支決算について

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である神戸市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施した。

また、財政状況の改善、組織風土の変革・人材育成や市民福祉事業への取り組みについて定めた「中期経営計画2027」を9月に策定し、その実現に向けた取り組みを進めた。

令和5年度事業報告

※事業実績の< >内は、令和4年度実績を示す。

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長 [公1] 86百万円

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 ユニバーサル社会構築に向けた取り組み

(1) ユニバーサルデザイン（UD）の普及啓発

市民の思いやりの心を育み、福祉について学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、障がいを理解するための体験やしあわせの村におけるあらゆる利用者に配慮した取組みの紹介など、しあわせの村の資源を活かした「ユニバーサル体験学習」を実施した。

また、市内の小学校を対象とした「UD出前授業」などを実施した。

① ユニバーサル体験学習 [参加者数] 1,841名 (31団体) <1,486名 29団体>

② UD出前授業 [訪問学校数] 25校 [参加者数] 2,356名 <20校 1,560人>

(2) 聴覚・視覚障がいへの理解

聴覚・視覚障がいについて市民の理解を深めることを目的として、手話及び点字の講座を行った。

① 手話講座

i 入門課程フォローアップ[°] 講座

[実施回数] 2期・全10回 <2期・全10回> [受講者数] 39人 <35人>

ii 基礎課程フォローアップ[°] 講座

[実施回数] 2クラス・全10回 <2クラス・全10回> [受講者数] 38人 <21人>

② 点字講座 [実施回数] 1期・全35回 <1期・全35回>

[受講者数(修了者数)] 15人(10人) <14人(13人)>

③ 短期手話講習会 [実施回数] 1クラス・全4回 <2クラス・全4回>

[受講者数] 20人 <39人>

- ④ こども手話講座 [実施回数] 1期・全10回 <1期・全10回>
[受講者数] 19人 <19人>
- ⑤ 夏休みこども手話教室 [実施回数] 全1回 (2クラス) <全1回 (2クラス)>
[受講者数] 42人 <40人>
- ⑥ 夏休みこども点字教室 [実施回数] 全1回 (2クラス) <全1回 (2クラス)>
[受講者数] 27人 <28人>
- ⑦ こども手話交流会 [実施回数] 2回 (新規) [参加者数] 15人

- (3) 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営（文部科学省受託事業）
学校卒業後の障がい者の生涯学習の機会として、幅広い分野の講義の受講、クラブ活動や世代間交流行事を通じて、主体性を育み、仲間づくりを実現することを目的とした「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」を実施した。
- [実施回数] 8回 [受講者数] 48人 <9回・42人>

(4) 市民福祉活動支援

「チャレンジド・ドローン講習会」や「ユニバーサルスポーツ体験ラリー」など、しあわせの村の資源を活用した福祉活動に対する支援を行った。

2 健康寿命の延伸に向けた取り組み

(1) フレイル予防の推進

東京大学高齢社会総合研究機構が提唱するフレイル予防の取り組みである「市民サポーターによるフレイルチェック会」を神戸市より受託して実施した。

[実施回数] 15回 [参加者数] 237人 <15回・158人>

- (2) 「こうべ長寿祭」の開催及び「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」への選手団の派遣
高齢者のスポーツ・文化の振興と健康増進を図るため、神戸市から委託を受け「こうべ長寿祭」を開催するとともに、各競技団体が選出した選手を神戸市代表選手団として「第35回全国健康福祉祭えひめ大会」に派遣した。

① 第36回こうべ長寿祭

[開催期間] 4月15日～10月21日 [参加者数] 計1,242人 <中止>
[美術作品] 193点 <209点>

② 第35回全国健康福祉祭えひめ大会

[開催期間] 10月28日～31日
[神戸市代表] 17種目97人、美術作品10点 <12種目97人、美術作品9点>

3 「こうべ医療者応援ファンド」の運営

令和2年度より4年度末まで寄附金を受け付け運営を行ってきた新型コロナウイルス感染症患者の治療等にあたる医療従事者を応援する基金「こうべ医療者応援ファンド」について、基金残高の配分を行った。

[医療機関への支援金配分額] 1億2,684万5,000円 (運営期間総額: 8億7,920万777円)

II 総合福祉ゾーン「神戸市しあわせの村」の管理運営[公2] 448百万円

「神戸市しあわせの村」の指定管理者として、だれもが安全・安心・快適に利用できるよう総合的な維持管理を行うとともに、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念の実現を目指し、市民の福祉意識の高揚、福祉活動の推進、健康の増進等の事業を、共同事業体及び村内施設との連携により実施し、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」ことができるよう総合福祉ゾーンとしての運営の充実を図った。

	利用者数	対令和4年度比	
入村者数	1,890,800人	+175,100人	(+10.2%)
施設利用者数	859,972人	△15,434人	(△1.8%)
宿泊施設	54,222人	+10,205人	(+23.2%)
温泉(※)	100,400人	△75,222人	(△42.8%)
屋内運動施設	226,096人	+11,682人	(+5.4%)
屋外運動施設	405,189人	+25,835人	(+6.8%)
研修館等	74,065人	+12,066人	(+19.5%)

(※) 天井補修工事・施設点検のため、10月12日～3月31日まで休業。

1 高齢者・障がい者が主役の村づくり

(1) 神戸市シルバーカレッジの運営

「再び学んで他のために」をモットーに、健康ライフ、国際交流・協力、生活環境、総合芸術の4つのコースの専門授業と、全コースの学生を対象とした社会貢献などの共通授業やスポーツ授業を実施した。

また、在学生や卒業生の社会貢献活動を通じて、小学校での児童の見守りなどの学校運営支援活動や地域のリーダーとなる人材の育成に取り組んだ。

[令和5年度入学者数] 309人(うち、再入学者数 80人)<312人(うち、再入学者数 87人)>

[令和5年度末在籍学生数] 785人 <720人>

健康ライフ（健康福祉）コース 168人 <131人>

国際交流・協力コース 142人 <128人>

生活環境コース 112人 <126人>

総合芸術コース（4専攻） 363人 <335人>

(2) 「NPO法人社会還元センターグループわ」との連携

神戸市シルバーカレッジの卒業生によるボランティア組織である「NPO法人社会還元センターグループわ」と連携し、「わいわいストリート（昔あそび体験）」などのイベントを開催した。

① わいわいストリート [実施日] 5月5日 [参加者数] 710人 <623人>

② 夏休み工作塾 [実施日] 8月6日 [参加者数] 173人 <120人>

③ ビバ・ハロウィン「こうべっこひろば」

[実施日] 10月30日 [来場者数] 307人 <1,362人>

(3) 企業・大学と連携した“しごと”創出の基盤づくり

村内における障がい者の就労を進めるため、神戸市教育委員会や特別支援学校、しごとサポート等と連携し、村内事業所における実習のためのマッチングやサポートに取り組んだ。

また、しあわせ農園において、障がい者や認知症高齢者、引きこもりの方などを対象とした農業体験を実施し、社会参加のきっかけづくりに取り組んだ。

さらに、東京大学先端科学技術研究センターと連携し、市立特別支援学校在校生へ就労体験の機会を提供了。

- ① 職場体験実習　〔受入施設数〕 4 施設　〔受入人数〕 26人 <4 施設 43人>
- ② 農業体験　〔参加施設数〕 3 施設　〔参加人数〕 延893人 <5 施設 延764人>
- ③ 超短時間インターンシップ　〔参加人数〕 8人 <4人>

(4) こころのアート展・こころのアートギャラリー

障がい者に自らを表現する機会を提供し活躍の場を広げるとともに、市民の障がい者に対する理解を深めることを目的に、障がい者で芸術活動に取り組む方を公募し、作品展を実施した。さらに、出展作品から着想を得て選曲・演奏する市民等を公募し、こころのアート展会場内で音楽演奏とアート作品のコラボレーションイベント「こころがそまるミニライブ」を実施した。

また、本館・宿泊館2階の「こころのアートギャラリー」において企画展（十人十色展）を実施したほか、三宮中央通り地下通路の「サンポチカギャラリー」での企画展を新たに開催した。

- ① 第12回こころのアート展
〔実施期間〕 12月14日～1月14日　〔来場者数〕 4,798人 <7,755人>
- ② こころがそまるミニライブ
〔実施日〕 12月17日、1月6日　〔来場者数〕 907人 <801人>
- ③ 十人十色展　〔実施回数〕 5回 <4回>
- ④ サンポチカギャラリー展示　〔実施期間〕 4月28日～通年
- ⑤ 神戸旧居留地×「こころのアート展」
〔実施期間〕 12月6日～12月21日　〔作品展示場所〕 9カ所 <9カ所>
- ⑦ 神戸リハビリテーション病院特別展　〔実施期間〕 2月15日～3月5日

(5) 障がい者事業所製品の販売支援

本館・宿泊館1階コンビニエンスストアに併設する「はっぴねすコーナー」において、市内障がい者事業所製品の販売を行った。

また、村内障がい者施設による「缶バッジ☆マグネット製作隊」の活動を支援した。

- ① はっぴねすコーナー売上額 5,114千円 <5,330千円>
- ② はっぴねすコーナー出店施設 35団体 <39団体>
- ③ 缶バッヂ☆缶マグネット製作隊受注実績 6,870個 <6,530個>

(6) ボランティア活動の推進

様々な世代の市民にしあわせの村においてボランティアとして活動いただき、市民福祉活動の推進を図った。

[ボランティア登録者数／活動者数]

- ① 障がい児・者向けスポーツ教室指導補助ボランティア
51人／延519人 <37人／延263人>
- ② 社会人ボランティア 36人／延256人 <29人／延259人>
- ③ ニース(大学生)ボランティア 35人／延158人 <49人／延213人>
- ④ 花緑ボランティア 17人／延635人 <14人／延715人>

2 障がい者スポーツの振興

(1) スポーツ交流イベント

障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しみ、相互理解を深めることを目指し、気軽にスポーツを楽しむことができるイベントを関係団体との共催で実施した。

- ① パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2023(兵庫県、神戸市等共催)
[実施日] 11月3日 [参加者数] 3,520人 <3,510人>
- ② 第18回パラバレーボール大会(座位) (神戸市社会福祉協議会と共催)
[実施日] 3月3日 [参加者数] 8チーム72人 <8チーム66人>
- ③ ふれあい卓球大会 (フレンドリー卓球大会実行委員会と共催)
[実施日] 9月10日 [参加者数] 89人 <73人>

(2) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に、各種スポーツ教室を実施した。

- [実施種目] 水泳、卓球、親子運動、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ
- [実施回数] 水泳、卓球、親子運動 年2期
 - テニス 年6期
 - アーチェリー 年4期
 - ニュースポーツ 隨時
- [受講者数] 348人 <350人>

(3) 中高生パラスポーツクラブ

特別支援学校の在校生を対象に、パラスポーツへの興味や関心・仲間づくりのきっかけをつくり、卒業後の運動習慣や余暇活動の向上につなげることを目的とした「中高生パラスポーツクラブ」等の事業を神戸市教育委員会より受託して実施した。

- ① 中高生パラスポーツクラブ [参加者数] 37人・3校 <66人・7校>
- ② 地域出前型スポーツパッケージ [参加者数] 29人・3校 (新規)
- ③ ウィークエンドスポーツクラブ [参加者数] 15人 (新規)
- ④ 指導者(サポートー)養成研修 [参加者数] 13人 (新規)

3 すべての子どもの成長支援

(1) 野外活動を通じた支援

包括連携協定を締結している（公財）神戸YMCAと連携し、野外活動を通じた学びや体験の機会を提供する「しあわせの村×YMCA森の学校」や、障がいのある子どもとその家族が野外でのキャンプやレクリエーション活動を楽しみ、交流を図ることを目的とした「家族で楽しむキャンプ入門」を実施した。

① しあわせの村×YMCA森の学校 [参加者数] 38人 <31人>

② 家族で楽しむキャンプ入門 [実施日] 7月29日, 11月11日

[参加者数] 185人<254人>

(2) のびのび運動ひろば

発達の気になる児童とその保護者の支援として、専門家や専門機関との連携により、簡単な運動プログラムの提供や、保護者に対する専門家による講座や保護者間交流の場の提供を行う「のびのび運動ひろば」を実施した。

[参加者数] 児童33人、保護者33人 <児童60人、保護者60人>

(3) 子育て世帯駐車料金無料化

神戸市が進める子育て支援施策の一環として、18歳未満の子どもとともにしあわせの村を利用した場合に、普通車駐車料金の無料化を引き続き実施した。

[子育て世帯無料化台数] 114,578台 <121,598台>

(4) 中高生パラスポーツクラブ（再掲）

(5) 親子・世代間交流の場の提供（再掲）

(6) 学生ボランティアの活動支援（再掲）

4 しあわせの村のにぎわいづくり

(1) しあわせの村まつり「村の小さな夏まつり」

村内事業者・施設や近隣自治会と連携し、市民の交流を促すステージや縁日、手持ち花火等で構成するイベントを実施した。

[実施日] 8月26日, 27日, 28日、9月16日, 17日, 18日

[来場者] 14,856人 <9,359人>

(2) こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉や健康に関する意識を高めるため、神戸市、神戸市社会福祉協議会やふれあいのまちKOBE・愛の輪運動推進委員会などと連携し、福祉施設や障がい者団体等によるバザーや模擬店、福祉機器の展示や子ども向けの体験イベントなどを行った。

[実施日] 10月1日 [来場者] 9,401人 <9,171人>

(3) 開村記念日ミニライブ

開村35周年を記念し、公募により選ばれたアーティストによるミニライブを実施した。

[実施日] 4月23日 [来場者] 222人 <50人>

(4) 豊かな自然環境の魅力発信

「いやしの小径」や日本庭園をはじめ、市民の憩いとリフレッシュの場であるしあわせの村の公園施設を活用し、各種イベントなどを通じて「自然から得られる癒やし」を提供了。

「ユニバーサル農園」においては、レクリエーションや障がい者の機能回復等を目的として、村内の福祉施設の高齢者、障がい者や幼児に野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供了。

① 夜桜ライトアップ

[実施日] 令和5年3月29日～4月4日 [参加者数] 6,834人 <6,647人>

② 植物散策会 [実施日] 7月2日 [参加者数] 27人<29人>

③ 脱穀体験会 [実施日] 10月29日 [参加者数] 61人<67人>

④ 紅葉ライトアップ [実施日] 11月2日～11月12日 [来場者数] 3,401人<3,080人>

⑤ イルミネーション（本館ロータリー前） [実施日] 11月18日～2月12日

⑥ ユニバーサル農園活動 [参加団体数] 8団体 [参加人数] 延1,942人<延1,528人>

(5) 広報・広聴

ホームページ、SNSやプレスリリース等の様々な広報媒体や機会を活用して村の取り組みや魅力を効果的に発信し、来村者の増加を図った。また、しあわせの村の利用者の意見を聞き取り、サービスの向上や改善等に反映させるため、入村者アンケート調査を実施した。

III 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 384百万円

1 介護保険認定調査業務

市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民、及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を、神戸市との業務請負契約により実施した。

[調査件数] 37,237件 <36,816件>

2 介護保険事業者運営指導業務

介護保険法に基づく市内介護保険事業者に対する運営指導業務の一部を神戸市より受託し実施した。

[運営指導件数] 301事業所 <240事業所>

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設の運営等 429百万円

1 しあわせの村内便益施設の運営

① 有料駐車場

〔有料利用台数〕 210,635台 <213,911台>

〔子育て世帯無料化台数〕 114,578台 <121,598台>

② 公衆電話 〔設置台数〕 2台<4台>

③ 屋外アドベンチャー遊具（民間事業者と連携し設置）

〔運営事業者〕 株式会社冒険の森

〔利用者数〕 18,158人 <24,594人>

※安全点検のため、11月5日～1月5日まで一部コースを休止。

2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用

《ホール等》 2,760人 <1,323人>

3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営

〔運営事業者〕 株式会社なでしこの湯

〔利用者数〕 《宿泊》8,373人 <7,006人> 《温泉》168,050人 <163,014人>

【その他法人管理等】

1 中期経営計画の策定

「事業の必要性」・「収支の適正性」の観点から全事業を対象とした事業見直しを行ったうえで、財政状況の改善、組織風土の変革・人材育成や市民福祉事業への取り組みについて定めた「中期経営計画2027」を9月に策定した。

2 人材育成

新規事業等の企画立案を検討する若手職員を中心としたワーキングチームによる活動を行い、将来の組織運営を担う人材の育成に取り組んだ。